

環境活動レポート

環境活動レポート

【活動期間 2007/11～2008/10】



2008年12月9日

株式会社 久力製作所

代表取締役 久力 一 男

環境方針

【基本理念】

株式会社久力製作所は、住宅部品(ドアロック、ドア部品、ユニットバス部品、トイレアクセサリーなど)の製造において、安全で快適な暮らしを確保する為の一員として事業活動を行うと共に、皆の財産である霞ヶ浦(北浦)の保全と地域社会とのコミュニケーションを推進し、環境保全活動を積極的に推進してまいります。

【基本方針】

1. 環境関連の法規制等を遵守致します。
2. 廃棄物の排出量及び最終処分量の抑制とリサイクル化を推進する。
3. 無駄なエネルギー利用は排除し、業務効率の向上により、省エネルギーに努める。
4. エコアクション21の活動を通じ、従業員の環境保全意識を高める。
5. 環境方針は、環境掲示板への掲示と説明で全従業員に伝達し、理解させる。

平成 19年 9月 1日
株式会社 久力製作所
代表取締役 久力 一 男

会社／事業活動の概要

1. 会社名／代表者名

株式会社 久力製作所
代表取締役 久力一男

2. 所在地

本社・工場 茨城県行方市小貫1681 (EA21 認証・登録サイト)
東京支店 東京都墨田区錦糸町4-6-9

3. 環境管理責任者及び連絡先

環境管理責任者 栃本修一
連絡先 TEL : 0291-35-2636 FAX : 0291-35-2683

4. 事業概要

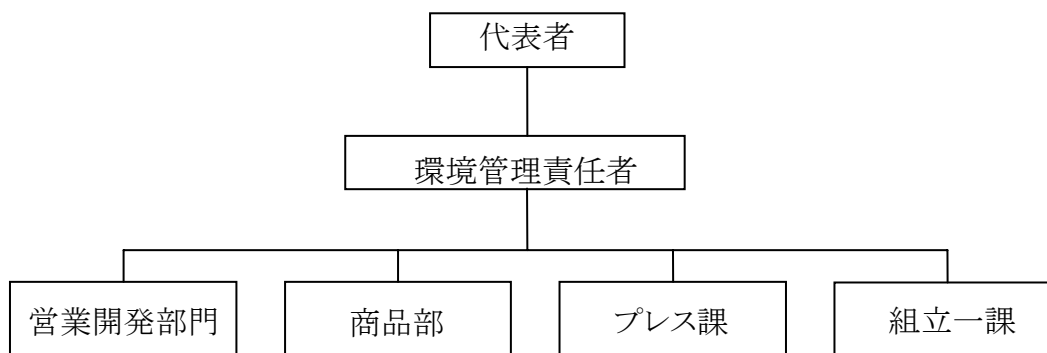
ドア・引戸等の建築金物及び浴室・洗面トイレ用アクセサリーの製造

5. 事業規模

2005年度：2004年11月～2005年10月
2006年度：2005年11月～2006年10月
2007年度：2006年11月～2007年10月
2008年度：2007年11月～2008年10月

項目	単位	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度
生産高	t	—	2,726	2,850	3,222
売上高	百万円	1,567	1,875	2,310	2,363
従業員	人	44	58	65	70
床面積合計	m ²	1,400	1,400	1,400	1,400

6. 本社・工場の組織図（組織体系）



環境目標

1. 環境目標

No.	環境目標項目	単位	過去の実績			目標（値）		
			2005年度	2006年度	2007年度 (基準年)	2008年度	2009年度	2010年度
1	二酸化炭素排出量の削減 【2007年度実績比(売上高百万円当たり)】	kg-CO ₂ /百万円	65.2	60.4	37.3	1%減	3%減	5%減
2	廃棄物排出量削減 【2007年度実績比】	t	3.2	3.5	4.4	1%減	3%減	5%減
3	廃棄物のリサイクル推進	%	—	—	—	50%	60%	70%
4	水の使用量削減 【2007年度実績比】	m ³ /人	—	—	0.61	10%減	10%減	10%減
5	コピー用紙使用量の削減 【2007年度実績比(売上高百万円当たり)】	枚/売 上げ	412	347	294	3%減	5%減	7%減
6	グリーン購入の推進 【事務用品購入金額に対するグリーン品の比率】	%	—	—	—	30%	50%	70%
7	ダンボール通い化の推進 【供給者間の通い化を達成した部品点数】	部品点 数	—	—	—	10点	20点	30点

活動の取組み結果の評価

1. 環境目標の達成度

○…目標達成 △…やや未達（100未満～80%） ×…未達（80%未満）

No.	2008年度環境目標	単位	実績（2007年11月～2008年10月）	目標達成率	評価
1	二酸化炭素排出量の削減【2007年実績比1%減 36.9（売上高百万円当たり）】	kg-CO ₂ /百万円	36.0	103%	○
2	廃棄物排出量削減【2007年実績比1%減 0.36 t/月】	t/月	0.357	101%	○
3	廃棄物のリサイクル推進【50%以上】	%	95	191%	○
4	水の使用量削減【2008年10月実績比10%減 0.55 m ³ /月】	m ³ /人	0.60	109%	○
5	コピー用紙使用量の削減【2007年実績比3%減 285枚/月】	枚/百万円	240	119%	○
6	グリーン購入の推進【事務用品購入金額に対するグリーン品の比率30%以上】	%	30.7	102%	○
7	ダンボール通い化の推進【供給者間の通い化を達成した部品点数】	部品点数	10	100%	○

2. 実績の分析

No.	環境目標項目	評価
1	二酸化炭素排出量の削減	売上高の伸びと電気使用量削減により、効果的に目標を上回った。
2	廃棄物排出量削減	ビニール（梱包材）の削減で目標達成となった。
3	廃棄物のリサイクル推進	ビニール（梱包材）の廃棄物は、固化燃料としてほぼ100%リサイクルする処理で行っている。
4	水の使用量削減	節水コマ、節水掲示板の設置により効果的に削減された。
5	コピー用紙使用量の削減	使用済みの裏面利用が関係者によって実施されている。
6	グリーン購入の推進	全体の購入金額の大きいセロハンテープ、PP透明テープをグリーン品へ移行した。
7	ダンボール通い化の推進	通い化を行なう部品をリストアップし、計画に沿って実施した結果、目標達成となった。

環境関連法規への違反・訴訟等の有無

1. 適用される主な法規制の遵守状況

法規制	チェック結果	状況
廃棄物処理法、茨城県及び行方市条例	○	問題なし
PRTR 法	○	問題なし
労働安全衛生法	○	問題なし
消防法及び行方市条例	○	問題なし
騒音規制法及び茨城県条例	○	問題なし
振動規制法及び茨城県条例	○	問題なし
その他の法規制	○	問題なし

2. 違反・訴訟など

- ・環境関連法規について過去4年間、関係機関等からの指摘は無く、又訴訟などありません。
- ・また、内部の遵守評価においても法令違反はありませんでした。